

石川県弓道連盟創立70周年記念式典等を開催

2月18日(日)、まだ大雪の影響が残る中、ANAクラウンプラザホテル金沢で標記式典等が開催され、会員約160名が集い創立記念の節目を祝った。

式典では水橋美喜夫県連会長が、「この節目を迎えることができたのは歴代会長を始め、会員皆様のご尽力とご協力のお陰です。三十三間堂の通し矢で天下一を勝ち取った吉田大蔵茂氏から400年の節目にもあたり不思議なご縁もある。今後とも北信越弓道の絆をさらに深め、全日本弓道連盟と歩を一にし、弓道がさらに輝きを増すよう念願する。」と挨拶。

(公財)全日本弓道連盟の岡本仁専務理事、県体育協会の下根浩明副会長が祝辞を述べた。

次に県連70周年事業の経過等を木下外治理事長から報告。

続いて県連事業推進に功績があった県立武道館および県内6弓道協会(加賀市・小松市・能美市・白山市松任・内灘町・宝達志水町の各協会)に感謝状を贈呈。また、新調した県連旗のデザイン考案者の藤田怜子氏に表彰状を贈呈。

その後、イグノーベル賞を受賞した廣瀬幸雄金沢大学名誉教授の記念講演があった。

続く祝賀会では、初めに29年度の昇段・昇格者・全国大会入賞者へのお祝いが行われ、昇段者を代表して道越良治氏、大会入賞者を代表して中條大輔氏が謝辞を述べた。

続いて、70周年記念史を編纂した川瀬英機、川端修、黒川正道の3氏が順に記念誌編纂の苦労話を披露。その後、荘厳な雅楽の演奏で開宴し、石川県体育協会の向田和義専務理事、北信越弓道連合会の前田三男会長が祝辞を述べ、松川衛県連副会長の音頭で乾杯。新潟県弓道連盟渡邊恵兒副会長が4月開催の第3回世界弓道大会の日本チームメンバーに選抜された友安選手に対する激励を送り祝宴となった。北村一郎県連副会長の中締め、川瀬英機県連副会長の閉会の辞で和やかな宴が閉じられた。

また、当日創立70周年記念誌と記念の特製タオルが参加者に配付された。





